

明治一代女

作詞：藤田まさと 作曲：大村能章

浮いた浮いたと 浜町河岸に
浮かれ柳の はずかしや
人目しのんで 小舟を出せば
すねた夜風が 邪魔をする

怨みますまい この世の事は
仕掛け花火に 似た命
もえて散る間に 舞台が変わる
まして女は なおさらに

意地も人情も 浮世にや勝てぬ
みんなはかない 水の あわ
泣いちゃならぬと 言いつつ泣いて
月にくずれる 影法師